

校長室より

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼敦之

「二松から飛翔へ」～一期一会～

新入生歓迎行事

～部活紹介～

新入生のガイダンスも二日目を終え、いよいよ授業がスタートします。二松学舎での生活への期待とともに、新たな生活への不安も交錯していることでしょう。

学年集会の激励でも述べましたが、「皆さんは高いハードルを越えて本校に入学してきた。高い資質・ポテンシャルを持っており、大いに期待している。しかし、その原石は磨かなければ二松学舎での3年間は意味がない。自らを律し、粘り強く、考え行動することで自分自身を高めてほしい」と。

また、午後からの部活紹介では、『三兎を追う』三兎の一つである部活動をぜひ体験し、参加していこう。まず参加すること、部活は続けていると、急に面白くなる瞬間が来る。気づいたら、放課後が一番楽しみになっている、そんな人は毎年たくさんいる。それに、仲間ができるのも部活のいいところであり、自分の居場所ができるのもメリット。同じことで悩んだり、笑ったりできる仲間は、高校生活の一番の財産にもなる。合う、合わないは、やってみないと分からない。中学時代にやっていたことをさらに極める。全く違った部活に挑戦する。文化部から運動部へ。欲張りな人はあっちもこっちも掛け持ちでOK、なのでまずは見に行く、体験する。「なんとなくやってみた」ことが、「一番ハマった」に変わるかもしれない」とエールを送りました。ぜひ一歩、踏み出してみてください。部活動への参加と積極的な取組を期待しています。



『凡事徹底』

～「時を守り、場を清め、礼を糺す」～

今年もこの言葉を追求していきます。『凡事徹底』。当たり前のことを当たり前に実践しようという事。

時を守る：始業時刻や授業に遅れずに行動を律しよう

場を清め：学習環境を整えよう。SNSの利用制限もその一つ

礼を糺す：人との対話・コミュニケーションのための挨拶

これらを徹底するよう心がけましょう。とりわけ挨拶は人としてのマナーでもあると考えます。

今年度も、朝、生徒指導部の先生方と玄関に立って、皆さんへの声かけを実施しています。挨拶は相手に伝えること・伝わるのが大事。自分から声に出して爽やかな挨拶をしましょう。

私は自分から声を掛けた人をカウントしています。名付けて「おはようカウンター」！！ 13日の朝は702名（生徒在籍803名）、過去最高の数値でした。

